

事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

（青森県 平成25年度）

市町村名	事業実施主体名	メニユー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						メニユー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
				計画時(平成21年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率			計画時(平成21年)	1年後(平成23年)	2年後(平成24年)	3年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他						
弘前市	つがる弘前農協	土地利用型作物(稲)	▼[水稲] ▼(環境保全) ▼環境保全型農業に取組む農業者の割合を増加	25.1%	51.2%	72.0%	73.1%	75.6%	95.0%	土地利用型作物(大豆)	▼[大豆]▼ (生産性向上) ▼大豆単収の増加	158.3kg	138.0kg	168.9kg	95.6kg	174.2kg	-394.3%	平成25年9月15日～16日にかけて発生した台風18号による豪雨により、多くのほ場が浸水し、倒伏・汚損による刈取不能ほ場が発生したほか、長雨の影響により、一定の品質を確保するには高刈りせざるを得なかったため、単収が大幅に下落した。	乾燥調製施設 (1棟: 1,688㎡) 処理量: 生籾1,618t、大豆141t)	698,668,950	287,055,000			411,613,950	H23.9.9	環境保全型農業への誘導を図るため、稲作農家へのチラシによる周知を進めた結果、目標を概ね達成し、エコファーマー認定者が大幅に増加した。わずかに目標を達成できなかった要因は、施設の利用率が84%に留まっているため、エコファーマーへの誘導が徹底し切れていないためと考えられており、今後、施設有効性を訴えながら新規の利用者の開拓に努め、エコファーマー認定者の更なる増加を図る。また、大豆の栽培技術については、施肥同時播種などによる労働力の省力化、施設の早めの対応による早期刈取の実施による適期収穫の徹底などが図られるようになった。しかし、収穫時期の天候により作柄が左右されやすく、特に、平成25年は台風18号や26号による豪雨や収穫時期(10月中旬～11月中旬)の降雨日数が19日間もあったことなど、長雨の影響により単収が大きく落ち込んだ。このため、浅耕小畝立栽培により水はけを良くして雨の影響を少なくするという気象条件の影響を受けにくく、安定生産が図られる技術の導入を進める。	施設の利用者については全員がエコファーマーに認定されるなど、ライスセンターを核とした環境保全型農業の取組が確実に浸透していると評価する。今後成果目標の達成に向けて、更に施設利用の有効性と環境保全型農業の必要性を農業者に訴え、エコファーマー認定者の増加を支援する。大豆については、天候による影響を最小限に抑えるため、排水対策の徹底と、湿害対策として小畦立て栽培技術の導入などが図られるようについて指導する。		

(青森県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成21年)	1年後 (平成23年)	2年後 (平成24年)	3年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率				計画時 (平成21年)	1年後 (平成23年)	2年後 (平成24年)	3年後 (平成25年)	目標値 (平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
				弘前市 大鰐町	つがる弘前農協	環境保全(環境保全型農業)	▼[野菜] ▼(環境保全) ▼受益地域の堆肥の施用面積の割合を増加	37.7%	53.1%				56.3%	56.3%	100%	29.9%	堆肥施用面積割合が18.6㎡/ha増加したが、目標は達成されなかった。 ・受益地域の野菜作付面積のうち堆肥施用面積 9.4ha ・受益地域の野菜作付面積 16.7ha	▼[野菜] ▼(環境保全) ▼環境保全型農業に取り組む農業者の割合を増加				1.9%	26.7%	26.7%	26.7%				

(青森県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名 （対象作物・畜種等名）①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①												成果目標の具体的な実績① （対象作物・畜種等名）②	メニュー② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②												成果目標の具体的な実績②	事業内容 （工種、施設区分、構造、規格、能力等）	事業費 （円）	負担区分（円）				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時（平成16年）	1年後（平成18年）	2年後（平成19年）	3年後（平成20年）	4年後（平成21年）	5年後（平成22年）	6年後（平成23年）	7年後（平成24年）	8年後（平成25年）	目標値（平成25年）	達成率	計画時（平成16年）			1年後（平成18年）	2年後（平成19年）	3年後（平成20年）	4年後（平成21年）	5年後（平成22年）	6年後（平成23年）	7年後（平成24年）	8年後（平成25年）	目標値（平成25年）	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他						
青森市	青森市浪岡第1りんご生産組合	▼【果樹】▼（生産性向上）▼労働時間の削減（10a当りの削減）230時間→184時間以下	230時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	184時間	184時間	100.0%	労働時間の削減目標を達成（10a当たり）46時間																			H18.3.27	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られ、10a当たり46時間の労働時間が削減されたことにより目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、剪定等技術の習得により、作業効率の良い圃地づくりを進め、労働時間削減の目標が達成された。		
弘前市	弘前改植組合	▼【果樹】▼（生産性向上）▼労働時間の削減（生産量1t当りの削減）88時間→63時間以下	88時間	—	—	—	—	—	—	—	—	58時間	63時間	120.0%	労働時間の削減目標を達成（生産量1t当たり）30時間																			H18.3.30	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られ、生産量1t当たり30時間の労働時間が削減された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、早期の摘果作業により作業効率を高め、労働時間削減の目標が達成された。			
弘前市	平成17年度岩木りんご第2改植組合	▼【果樹】▼（生産性向上）▼労働時間の削減（生産量1t当りの削減）78時間→58時間以下	78時間	—	—	—	—	—	—	—	—	58時間	58時間	100.0%	労働時間の削減目標を達成（生産量1t当たり）20時間																			H18.3.31	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られたことにより、生産量1t当たり20時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、早期の摘果作業により作業効率を高め、労働時間削減の目標が達成された。			
弘前市	相馬わい化推進組合	▼【果樹】▼（生産性向上）▼りんご全出荷量に占める秀品率割合の増加53.8%→65.8%以上	53.8%	—	—	—	—	—	—	—	—	70.4%	65.8%	138.3%	りんご全出荷量に占める秀品率割合増加目標達成16.6%																			H18.3.25	わい化による改植で栽培管理の省力化を図り、早期の摘果と栽培技術の習得により秀品割合が16.6%増加し目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、早期の摘果作業と栽培技術の習得により秀品率が向上し、目標が達成された。			

(青森県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名 メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①												成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②												成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工程、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時 (平成 16年)	1年後 (平成 18年)	2年後 (平成 19年)	3年後 (平成 20年)	4年後 (平成 21年)	5年後 (平成 22年)	6年後 (平成 23年)	7年後 (平成 24年)	8年後 (平成 25年)	目標値 (平成 25年)	達成率	計画時 (平成 16年)				1年後 (平成 18年)	2年後 (平成 19年)	3年後 (平成 20年)	4年後 (平成 21年)	5年後 (平成 22年)	6年後 (平成 23年)	7年後 (平成 24年)	8年後 (平成 25年)	目標値 (平成 25年)	達成率	交付金	都道府県費				市町村費	その他						
黒石市	17年黒石改植組合	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上) ▼労働時間の削減(10a当たりの削減)233.4時間→183.7時間以下	233.4時間	-	-	-	-	-	-	-	182.5時間	183.7時間	102.4%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)50.9時間															小規模土地基盤整備改植等一式1.33ha	19,396,000	9,698,000	1,939,000	969,000	6,790,000	H18.3.31	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られたことにより、10a当たり50.9時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、早期の摘果作業により作業効率を高め、労働時間削減の目標が達成された。			
黒石市	17年黒石第2改植組合	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上) ▼労働時間の削減(生産量1t当たりの削減)80時間→61時間以下	80時間	-	-	-	-	-	-	-	60時間	61時間	105.3%	労働時間の削減目標を達成(生産量1t当たり)20時間															小規模土地基盤整備改植等一式2.38ha	26,570,775	13,285,000	2,657,000	1,328,000	9,300,775	H18.3.31	わい化への改植により、りんご栽培の省力化が図られたことにより、10a当たり20時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、早期の摘果作業により作業効率を高め、労働時間削減の目標が達成された。			
平川市	平成17年度平賀町りんご改植組合	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上) ▼労働時間の削減(10a当たりの削減)219時間→173時間以下	219時間	-	-	-	-	-	-	-	173時間	173時間	100.0%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)46時間															小規模土地基盤整備改植等一式1.41ha	17,074,281	8,537,000	1,702,000	1,727,000	5,108,281	H18.3.31	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られたことにより、10a当たり46時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、晩成種から早生、中生品種へ切り替えを進め、労働時間削減の目標が達成された。			
平川市	平成17年度平賀町第2りんご改植組合	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上) ▼労働時間の削減(生産量1t当たりの削減)78時間→58時間以下	78時間	-	-	-	-	-	-	-	58時間	58時間	100.0%	労働時間の削減目標を達成(生産量1t当たり)20時間															小規模土地基盤整備改植等一式0.81ha	7,441,897	3,720,000	743,000	748,000	2,230,897	H18.3.31	わい化への改植で栽培管理の省力化が図られたことにより、生産量1t当たり20時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、晩成種から早生、中生品種へ切り替えを進め、労働時間削減の目標が達成された。			

(青森県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①													メニュー② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②													事業内容 (工程、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時(平成16年)	1年後(平成18年)	2年後(平成19年)	3年後(平成20年)	4年後(平成21年)	5年後(平成22年)	6年後(平成23年)	7年後(平成24年)	8年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率	成果目標の具体的な実績①	計画時(平成16年)		1年後(平成18年)	2年後(平成19年)	3年後(平成20年)	4年後(平成21年)	5年後(平成22年)	6年後(平成23年)	7年後(平成24年)	8年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率	成果目標の具体的な実績②	交付金	都道府県費			市町村費	その他						
																																		177.2時間	100.6%				
藤崎町	藤崎町りんごわい化栽培研究会	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上)▼労働時間の削減(10a当たりの削減)224時間→177.2時間以下	224時間	-	-	-	-	-	-	-	-	176.9時間	177.2時間	100.6%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)47.1時間																					H18.3.31	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られたことにより、10a当たり47.1時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、早期の摘果作業により作業効率を高め、労働時間削減の目標が達成された。	
藤崎町	常盤りんご改植組合	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上)▼労働時間の削減(10a当たりの削減)225時間→177時間以下	225時間	-	-	-	-	-	-	-	-	176.8時間	177時間	100.4%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)48.2時間																					H18.3.31	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られたことにより、10a当たり48.2時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、早期の摘果作業により作業効率を高め、労働時間削減の目標が達成された。	
大鰐町	大鰐地区りんご改植推進組合	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上)▼労働時間の削減(10a当たりの削減)240時間→192時間以下	240時間	-	-	-	-	-	-	-	-	189.7時間	192時間	104.8%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)50.3時間																					H18.3.31	わい化への改植で、栽培管理の省力化が図られたことにより、10a当たり50.3時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、晩生種から早生、中生品種へ切り替えを進め、労働時間の削減目標が達成された。	
つがる市	つがる市りんご改植組合2005	果樹(りんご) ▼【果樹】▼(生産性向上)▼労働時間の削減(生産量1t当たりの削減)78時間→58時間以下	78時間	-	-	-	-	-	-	-	-	56時間	58時間	110.0%	労働時間の削減目標を達成(生産量1t当たり)22時間																					H18.3.27	わい化への改植で、りんご栽培の省力化が図られたことにより、生産量1t当たり22時間の労働時間が削減され、目標が達成された。	事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、栽培技術の習得により効率的な作業を実施し、労働時間の削減目標が達成された。	

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①											成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)②	メニュー② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②											成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工程、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
			計画時(平成16年)	1年後(平成18年)	2年後(平成19年)	3年後(平成20年)	4年後(平成21年)	5年後(平成22年)	6年後(平成23年)	7年後(平成24年)	8年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率			計画時(平成16年)	1年後(平成18年)	2年後(平成19年)	3年後(平成20年)	4年後(平成21年)	5年後(平成22年)	6年後(平成23年)	7年後(平成24年)	8年後(平成25年)	目標値(平成25年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
			259.6時間		-	-	-	-	-	-	-	-	196.6時間			196.6時間	100.0%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)63時間														H18.3.30					
板柳町	2005板柳改植組合	▼【果樹】(生産性向上)▼労働時間の削減(10a当たりの削減)259.6時間→196.6時間以下	259.6時間		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	196.6時間	196.6時間	100.0%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)63時間								H18.3.30		わい化への改植で、りんご栽培の省力化が図られたことにより、10a当たり63時間の労働時間が削減され、目標が達成された。		事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、栽培技術の習得により効率的な作業を実施し、労働時間の削減目標が達成された。							
鶴岡町	鶴岡わい化改植組合	▼【果樹】(生産性向上)▼労働時間の削減(10a当たりの削減)264時間→198時間以下	264時間		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	198時間	198時間	100.0%	労働時間の削減目標を達成(10a当たり)66時間								H18.3.27		わい化への改植で、りんご栽培の省力化が図られたことにより、10a当たり66時間の労働時間が削減され、目標が達成された。		事業による改植でわい化栽培面積を拡大し省力化を図るとともに、園地の品種構成の均一化により作業効率を向上させたことにより、労働時間の削減目標が達成された。							

都道府県平均達成率	70.1%	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> 目標年度が25年度となっている16地区のうち14地区で目標を達成している。 目標を達成できなかった2地区(弘前市つがる弘前農協)についての県の対応は次のとおり。 エコファーマー認定者数増加のための取組を引き続き実施。 大豆の安定多収に向けた栽培技術指導の実施。 野菜への堆肥施用面積増加に向けた栽培講習会の開催。 特別栽培取組者数増加に向けた新規取組者への支援。
-----------	-------	------	--